



ねんりんピック剣道交流大会県代表

かました かずひろ

釜下一浩さん



PROFILE

かました かずひろ (西側区・59)
市体育協会副会長。御前崎市剣道連盟副会長。剣道教士7段。「県すこやか長寿祭スポーツ大会」剣道競技で優勝。「ねんりんピック」県代表が決定した。

尊敬する先輩に続く

竹刀を打ち合う音と気合の込められた声が響く剣道場「白雲館」。釜下さんが所属する道場だ。週2回の稽古の中で己を磨いている。

5月12日、静岡市で開催された「第29回静岡岡県すこやか長寿祭スポーツ大会剣道競技大会」の60歳以上65歳未満の部で見事優勝。11月に富山県で開催される「第31回ねんりんピック剣道交流大会」へ静岡県代表として出場することが決定した。

「率直にうれしい。昨年は先輩2人が出場したので『次は自分が』という思いで1年間稽古に励んできた」。りりしい姿からは笑みがこぼれる。同大会は年々参加者が増加。勝ち上がることが難しいという。年に1度のこの大会に向けてきた努力が実った。

まだまだ、生涯現役

小学6年から剣道が続いている釜下さん。途中ブランクが10年ほどあったが、通算40年近く続けている。

「先輩にも後輩にも、良い仲間がいたからこそ続けるこ

とができた。中学、高校、大学時代は厳しかったが、とても成長させてもらったと思っ

ている」と振り返る。厳しい稽古のイメージがある剣道。その魅力は「礼に始まり礼に終わる武道、日本の伝統文化。集中力が養われること」だという。所作、作法を常に意識している姿には、取材をするこちらも自然と背筋が伸びた。

「体が動くうちはずっと剣道が続けたい」と話す釜下さん。将来的には「もう一度この大会に、御前崎の人と一緒に進出したい」と夢を語った。

同志の思いを背に全国へ

ねんりんピックでは静岡県代表として、他市町の剣士と共に戦う。「先鋒なので、勝つてチームに勢いをつけたい。前回静岡県はベスト8だった。その記録を超えられるように」と意気込んだ。

釜下さんは、近頃の剣道人口がめっきり減っていることを憂う。「これを機に御前崎の剣道人口が増えたら」と話す。

釜下さんの武運を祈り、御前崎市の剣道がさらに発展することを期待したい。